

製品名: アクチビン A 受容体 IB 型ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01608**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	マウス、ラット、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 57 kDa; Observed MW: 57 kDa

抗原情報

遺伝子名	ACVR1B
別名	ACVR1B; ACVRLK4; ALK4; Activin receptor type-1B; Activin receptor type IB; ACTR-IB; Activin receptor-like kinase 4; ALK-4; Serine/threonine-protein kinase receptor R2; SKR2
遺伝子 ID	91
SwissProt ID	P36896
免疫原	ヒトアクチビン A 受容体 IB 型の合成ペプチド

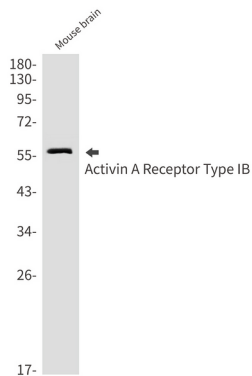
背景

リガンド結合により、2つのII型膜貫通型セリン / スレオニンキナーゼと2つのI型膜貫通型セリン / スレオニンキナーゼからなる受容体複合体を形成する。II型受容体はI型受容体をリン酸化して活性化し、I型受容体は自己リン酸化した後、SMAD 転写調節因子に結合して活性化する。TDP2 をリン酸化する。

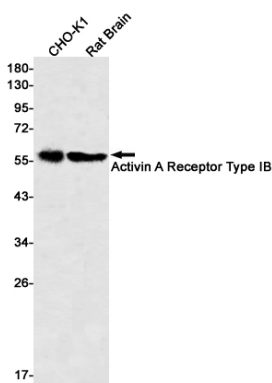
研究分野

シグナル伝達

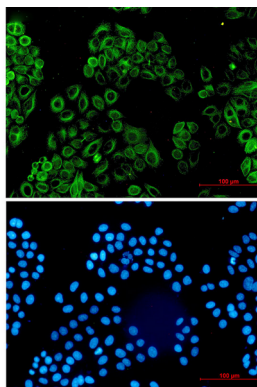
画像データ



アクチビン A 受容体タイプ IB 抗体を使用したマウス脳溶解物中のアクチビン A 受容体タイプ IB のウエスタンブロット分析。



アクチビン A 受容体タイプ IB 抗体を使用した CHO-K1 ラット脳溶解物中のアクチビン A 受容体タイプ IB のウエスタンブロット分析。



アクチビン A 受容体 IB 型 (緑) の細胞内における、アクチビン A 受容体 IB 型抗体と DAPI (青) を用いた免疫細胞化学分析